

○楊梅ノ品種並ニ効用

在東京 田 村 利 親

楊梅ハ顯花植物中雙子葉類ノ楊梅科ニ屬スル常綠互生葉ノ喬木ニシテ和名ヲやまもト呼ビ漢名ヲ楊梅ト唱ヘ又其學名ヲ *Myrica rubra* Sieb. et Zucc. ト稱シ山野自生ノ果實中最モ貴重スベキモノナリ

楊梅ノ名稱ハ種々アリ支那ニテハ宗ノ開寶本草ニ楊梅ト云フ明ノ李時珍ノ本草綱目ノ說ニ依レバ其形水楊子ノ如クニシテ其味梅ニ似タリ故ニ名クトアリ又段氏ガ北戸錄ニ杔子ト名ク楊州ノ人白楊梅ヲ呼デ聖僧ト云フ其他楊梅ノ果實ヲ楊家果、火實、鶴頭紅、楊果、龍青、楊氏子、火齊、金丸日精トモ云フ

日本ニテやまもト云フハ山百^{やまも}ト云フ義ナリ百^{やまも}トハ凡テ數ノ多キヲ唱フル語ニシテ果實ノ多ク房ヲナシテ

楊梅ノ品種並ニ効用

絹ヲ黃褐色染ス ● べにばな 花ヲ探リ紅色染 ● わうれん 根莖ヲ探リ黃色染 ● たいせい 一名はとくさ 葉ヲ探リ青色染 ● むんじゅ 花ノ荅ヲ探リ黃色染 ● せんぶり 根ヲ探リ黃色染 ● そめしは 葉ヲ探リ黃色染ヲナスサレド是レハ染法ノ定着劑ニ供スルコト多シ ● ひらさき 根ヲ探リ紫色料ヲナス此場合ニハひさかさ灰汁ヲ使用ス ● めはじき 生葉ニテ綠色染ヲナス ● くさぎ 熟果ヲ探リ碧色染 ● かぎかづら 莖ヲ探リ赤色染 ● くちなし 果皮及ビ果肉ヲ探リ黃色染 ● あかね 根ヲ探リ赤色染 ● すひかづら 熟果ヲ探リ帶黃綠色染 ● 尙ホ此他色素若クハ染料トシテ

あぶらざり ● まこも ● いたどり ● ざしざし ● うめ ● かな ● かし ● かしは ● はんのき ● くるみ ● のぶのき ● やまはぜ ● なら ● ぶな ● ぐねぎ ● うしろし ● あとさ ● ひさかさ ● だいづ ● 等アリ而シテ外國種ノ植物ニテハうこん ● さやうわう ● なんさん ● はぜ ● すはう ● 等古クヨリ知ラレタリ

現時外國ヨリ植物性染料トシテ我邦ニ輸入スル品ニハ

ド	バーウード	サンダーウード	フラビン	フスチック	オルチル	カテキユ類	ログウード	インデゴ等アリ
レッドウード	リマウード	ブラジルウード	カムウー					

居リシニ依リ明治初年ノ頃ヨリ楊梅ノ種類ヲ蒐集シ之レガ改良ヲ爲サン事ヲ企テ本邦各地巡歴ノ際ニハ常ニ此等ノ事ニ注意ヲ怠ラザリシニ漸ク近年ニ至リ之ニ關シテ百五十餘頁ノ稿本ヲ作り得シヲ以テ名ヲ楊梅栽培新書ト命ジ不日之ヲ世ニ公ニセンコトヲ期セリ因テ今茲ニ其書中ノ要項ヲ拔萃シ以テ世人ノ參考ニ供セントス

●楊梅ノ品種

- | | | | | |
|--------|----------|---------|---------|---------|
| ○廣東白楊梅 | ○喧嘩楊梅 | ○太次楊梅 | ○晚千太楊梅 | ○數珠楊梅 |
| ○廣東赤楊梅 | ○今八楊梅 | ○甚右衛門楊梅 | ○彌次兵衛楊梅 | ○馬場楊梅 |
| ○廣東紫楊梅 | ○半夏楊梅 | ○字平楊梅 | ○阿金楊梅 | ○天鷲絨楊梅 |
| ○龜藏楊梅 | ○金右衛門楊梅 | ○宇太楊梅 | ○半右衛門楊梅 | ○白團子楊梅 |
| ○天行寺楊梅 | ○晚金右衛門楊梅 | ○杉藏楊梅 | ○田村白楊梅 | ○小白團子楊梅 |
| ○爲作楊梅 | ○甘露楊梅 | ○義左楊梅 | ○高芝白楊梅 | ○土用楊梅 |
| ○八兵衛楊梅 | ○眉毛楊梅 | ○延次楊梅 | ○大谷白楊梅 | ○肥山楊梅 |
| ○八平楊梅 | ○中山楊梅 | ○鬼團子楊梅 | ○白龜藏楊梅 | ○黑口楊梅 |
| ○重盛楊梅 | ○浦ノ内黑楊梅 | ○中團子楊梅 | ○柳田薄赤楊梅 | ○赤口楊梅 |
| ○彥藏楊梅 | ○浦ノ内薄赤楊梅 | ○大天鷲絨楊梅 | ○南都楊梅 | ○糖楊梅 |
| ○無花果楊梅 | ○奥右衛門楊梅 | ○晚井上楊梅 | | |

●楊梅ノ効用

以上ノ五十三種中原ト其名稱ノ判明セザル者三分ノ一ニ及ベリ此等ノ種類ニハ其土地及ビ發見者ノ姓名ヲ取リテ以テ之ニ新名稱ヲ命ジタリ故ニ其稱呼甚ダ雅美ヲ缺クノ嫌アレドモ是レ亦止ムヲ得ザルニ出ヅルナリ

楊梅ノ効用ハ雷ニ薪炭ノ材料トナスニ適スルノミナラズ亦醫藥並ニ染料ニ供シテ其効最モ顯著ナルモノト謂フ

楊梅ノ品種並ニ効用

ベシ今茲ニ其効用ノ一端ヲ掲グベシ

○楊梅ノ樹ハ山野ノ瘠地ニ植エテ生長最モ迅速ナリ ○楊梅ハ薪炭ノ材料トシテ最モ佳良ナリ ○楊梅ハ家屋ノ周圍ニ植エテ風致ヲ添ヘ又火災ヲ防グ ○楊梅ハ果樹園ノ防風林トシテ實ヲ結ビ一舉兩得ノ効アリ ○楊梅ハ數百年ヲ經テ枯死セズ又切断スレバ直ニ萌蘖ヲ生ジ易シ ○楊梅ハ移植シテ肥料ヲ要セズ生長速ニシテ亦能ク多量ノ果ヲ結ブ ○楊梅皮ハ種々ノ染料ニ必要ナリ ○楊梅皮ハ醫藥トシテ効能多シ ○楊梅ノ實ハ楊梅酒ノ原料トシテ最モ貴重ナリ ○楊梅ノ實ハ鹽漬、蜜漬、及ビ砂糖漬トシテ食料ニ供セラル ○楊梅ノ實ハ楊梅「エキス」ノ原料トナル

尙左ニ醫藥及ビ染料等ニ就テ其方法ノ概要ヲ掲グベシ

○高知縣高岡郡須崎町及ビ浦ノ内村等ニ於テハ近時楊梅ノ皮ヲ以テ種々ノ染料ニ供スルコト頗ル盛ニシテ已ニ數百年ヲ經過シタル自然生ノ大木ハ殆ンド伐リ盡シタリト云フ又大正五年ニ至リテハ大阪市ヨリ製造人數名來リテ之レガ製造ニ着手シ此等ハ皆黃色ノ畫具ニ供シ目下生木八貫目ノ材料ハ其價十錢ニシテ乾皮ハ一貫目五錢ナリ此乾皮ハ生木ニ比スレバ數倍ノ價格ヲ有スルノ譯ナレドモ生皮ハ木材ト共ニ賣買ヲナスベキモノナルガ故ニ生皮ハ黃色ノ原料ニ供シ其木材ハ燃料ニ供スルナリ故ニ其價高値ナリト云フ當時同地方ニ於テハ一樹ノ重量三四千貫以上ニ上ルモノアリテ思ハザルノ巨利ヲ得タルモノ少ナカラズト云フ ○樹皮及ビ根ヲ採リテ湯煎シ惡瘡及ビ疥癬等ノ皮膚病ヲ洗フ時ハ頗ル効驗アリ ○楊梅ノ木ヲ燒テ灰トナシ油ニテ練リ湯火傷ノ處ニ塗ル時ハ其効最モ著シ ○楊梅ノ根皮ヲ湯煎シテ其煎液ヲ口中ニ含ム時ハ能ク齒牙ノ傷ミヲ止ムルノ効著大ナリ ○楊梅根皮ニ韭菜根等ヲ搗キ交ゼ之ヲ眼角ニ貼附スル時ハ風蟲ヲ治スルノ効大ナリ ○砒毒ニ中リタル時心腹絞痛シ嘔吐セントシテ吐セズ顔色蒼白四肢冷却スル時楊梅樹皮煎湯ヲ以テ之ヲ服スル時ハ

即チ治癒スト云フ ○楊梅ノ果實ハ大小人之ヲ食フ時ハ大ニ利尿ノ効アリテ少シモ身體ニ害アルコトナシ
 ○鹽藏シタル果實ヲ食スル時ハ痰ヲ去リ嘔噦ヲ止メ又食ヲ消シ酒毒ヲ下スノ効アリ ○乾シテ屑トナシ飲酒
 ノ時ニ臨テ之ヲ服スル時ハ吐酒ヲ止メ渴ヲ醫シ五臟ヲ和シ能ク腸胃ヲ洗滌シ煩懣惡氣ヲ除キ又燒灰シテ服ス
 ル時ハ下痢ヲ斷チ又鹽藏セルモノハ五臟ヲ利シ氣ヲ下スト云フ ○楊梅ノ核仁ハ脚氣ヲ治癒スト云フ、仁ヲ
 採ルノ法柿漆ヲ以テ核ヲ拌セ之ヲ暴ス時ハ即チ自ら破裂シテ出ヅルト云フ ○楊梅ヲ粉末トナシ之ヲ少許鼻
 ニ入レテ嚏ヲ取ルトキハ頭痛ヲ止ムルコト妙ナリト云フ ○楊梅ノ果實ハ又葱、蕎麥、煎豆等ト同時ニ食ス
 ル時ハ腹痛ヲ起シ時トシテハ大ニ身體ニ害アリト云フ注意スベキコトナリ又楊梅ノ樹ニテ蕎麥ヲ壓煉スル時
 ハ悉ク切斷シテ少シモ紐線ヲナサズト云フ
 余ハ各方ノ楊梅中最モ優品ナリト稱セラレタル支那廣東ノ赤白二種ノ楊梅ヲ栽培スルコト久シ幸ニ此等ノ良種
 我邦ノ海岸地方ニ分布スルニ至レバ其收利ノ大ナルコト敢テ多言ヲ要セザルベシ若能ク將來楊梅ノ研究ヲナ
 サント欲スル者アレバ前記ノ拙著(近刊)ニ就テ一覽アラシコトヲ希望スルナリ

○ 枳 餅 ノ 製 法

新潟縣林業技師 平塚 爲雄

左ニ記スル枳餅^{トチモチ}ノ製法ハ新潟縣岩船郡館越村^{タテノコシ}ニテ調査セル所ニ係ル

枳^{トチ}ノ實ノ一日一人ノ採取スル量ハ凡ソ四斗位ニシテ此採取シタル樹實ハ一夜水ニ浸シ日光ニ曝干シ貯藏ス此レ
 ハ何年間貯藏スルモ腐朽スルコトナシ

貯藏シタル樹實ヲ溫湯ニ浸シ其外殼ヲ去リ實五升ニ木灰一升五合位ト共ニ煮沸シ樹實ノ湯面ニ浮游スルニ至ル
 ヲ度トシ此中ニ更ニ木灰二升五合餘ヲ入レ搔キ廻シ木灰ニテ金米糖ヲ造リ溫度ノ冷却セザル内ニ藁筵ニ包ミ白